

知教労と半田市教育委員会との話し合い結果

平成27年10月21日半田市役所

1 労働安全衛生法にもとづく職場作りを

(知教労) 前年度に比べ、出退勤簿や割振り変更簿の形式は全体に揃ってきており、前進と捉えている。しかし、まだ実質的な内容が反映されていない所もある。

(教委) 該当校については、きちんと対処する。

(知教労) それは大切なことだが、一つの事例に過ぎない。そのようなことにする意識の問題であり、労安体制が周知されているかという問題である。半田中や乙川中では100時間を越える超過勤務(在校)者が20人ほどいる。200時間を越える人もいる。管理職への労安教育がないことが原因ではないか。

(教委) 出退校時刻の記入は、実質をきちんとするように話していく。在校時間の縮減についても努力をしている。少しずつ改善されている。

(知教労) 鳥居裁判の最高裁での判決が確定した。その中で、「包括的業務命令」の趣旨について市教委としてどのように対応していくのか。

ボランティア指導なども、それを任命したことが黙示の命令であり、校長が委託した校務分掌に関する仕事については、部活動も含め、業務であるという認識を共有してもらいたい。

(教委) 半田市だけではどうするかということは、答えられない。当面は、県教委の指示に従う。

(知教労) 労働時間が100時間を越えた場合、医師の診断を受けられることになっている。昨年度、実際に受けた事例はあるのか。

(教委) 知っている限り(事例は)ない。

(知教労) 50人を超える事業所では衛生委員会を開いていることになっている。労安法の観点から長時間の超勤者には直ちに医師の面談を受けるよう指導すべきだ。

(教委) きちんと開いている。働き方などについて話し合われている。(超過勤務が)100時間を越えた場合の対応については、再度確認する。

(知教労) 7時間45分の勤務時間に対応できるよう、行事などの削減に積極的に取り組んでいってもらいたい。また、地域の行事に安易に教職員を動員させないようにしてもらいたい。

(教委) 勤務時間を守らせるようにしたい気持ちは同様だ。

(知教労) ノー残業デーの実施は。

(教委) 11月18日は(県が進める)ノー残業デーなので、実施されるように働きかける。

(教委) 各校長には、教職員に早く帰ってもらって欲しいと毎回言っている。

2 ゆとりのある教育実現と、教育諸条件の充実を

(知教労) 35人学級実現のために努力して欲しい。

(教委) 教育委員会としても同じ考えだ。国及び県に要望していく。

(知教労) 施設面での充実を図って欲しい。

(教委) 耐震工事の充実を第一に考えている。来年度の要求として、9校の体育館を修繕する。成岩中学校の柔剣道場の天井の修繕も要求している。これで、耐震工事の方は終了する。

(知教労) 生活支援員などの人的な支援の拡大は。

(教委) 半田市は人的な支援は他市町と比べても力を入れている。生活支援員は、27年度は、市として更に4人の増員をしている。1学期の忙しい時期に養護教諭の事務補助を2名増やした。スクールカウンセラーも市独自で2名配置している。県からのスクールカウンセラーに市が時間数を上乘せしている。

(知教労) エアコンの導入についてはどうか。その他の施設面での充実はどうか。

(教委) 計画の方向性としては、考えている。いつとはまだ言えないが、計画を立てる段階には来ている。シャワートイレは随時入れていきたいと思っている。

(知教労) 特別教室の机・椅子も昨年要求したが、進んできているところも感じている。

(教委) 計画的に進めている。

(知教労) インフルエンザの予防接種の補助は、知多の中では先進的な取り組みだと評価している。今後も続けて欲しい。就学前検診を武豊町は中央公民館で、町として実施することになり、小学校の負担が減ったが、半田市は動きはないか。

(教委) 市として規模が大きいので、今のところ予定はない。現在は、アレルギー対策などの既往症で事前相談を実施している。

3 その他

(知教労) 学校訪問のあり方について、今年は、市町教育委員会が主導的に進める形に変わってきているが、訪問時期がまだ幅広すぎて、5月連休明けから11月まで学校の日程から言って無理がある場合が多い。もう少し市独自でやりやすい時期にできないのか。

(教委) 同じ日に違う学校が(他市町で)することも出てきている。

(知教労) パワーハラスメントの事例が届いている。

(教委) 気をつけたい。

(知教労) 教科書の選定について教員の声をもっと取り入れるべきだ。教科書の展示・見学も入りやすい雰囲気にしてもらいたい。育鵬社版の教科書が全国で広まる傾向があり、注視している。良識のある判断ができる土壌をつくって欲しい。

(知教労) スポーツクラブは以前高い理想で始められた。一定の修正が加えられたが、再度社会体育のあり方という面で取り組んで欲しい。

(教委) 今後前向きに考えて行きたい。